

札幌防衛施設局

局長 土屋 龍司 様

申し入れ書

米軍嘉手納基地のF15戦闘機訓練移転先候補地の一つとして航空自衛隊千歳基地の名前が挙がっており、札幌防衛施設局・土屋局長が「『可能性の一つとして』報告した」との報道がある。私たち北海道平和運動フォーラムは、この移転に断固反対である。

そもそもF15戦闘機訓練を移転する案が出された理由は明確である。沖縄の基地負担軽減である。とりわけ、分散することによって騒音の軽減を図ることである。しかし、「嘉手納周辺基地住民の騒音被害は深刻だ。飛行機が飛ぶたびに子供たちは勉強を中断し、乳児は母乳を吸う動作をやめ、ピクピクッと体をこわばらせる。」(1996年9月17日 「沖縄タイムス」)との現地レポートにもあるように、すさまじい騒音だという。このような騒音被害が伝えられる中で、千歳市への移転が検討されていることに対して、多くの住民は不安感を抱くのは当然である。

さらに沖縄では、騒音以外にも事故やトラブルも多発してきたといわれる。これも大きな不安材料である。道内においても、自衛隊の演習・訓練ではあるが、迫撃砲の越境事件、F15戦闘機の接触事故による部品落下、最近では陸上自衛隊のヘリによる同様の部品落下などの事故が相次いでいる。さらには、米海兵隊の実弾射撃訓練の分散に伴い、陸上自衛隊矢白別演習場で訓練を受け入れている現実もある。しかも、矢白別では「同質・同量」の約束を反故にし、夜間訓練なども実施している。

このように住民に計り知れない不安・被害を与える今回の移転案は断じて認めることはできない。計画案の白紙撤回を強く求めるものである。

2005年10月31日

北海道平和運動フォーラム

代表 江本 秀春

代表 杉山さかえ

代表 小林 雪夫